

中学校第 3 学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから 26 ページまであります。
- 3 解答は、全て解答用紙(解答冊子の「国語 A」)に記入してください。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、**濃く、はつきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗り潰してください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45 分間です。
- 9 「国語 A」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗り潰してください。

問題は、次のページから始まります。



田中さん

私たちのグループは、【配付資料】にあるように、教科書に載っているもの以外の材料を使って、ハンバーグのソースとその付け合わせを工夫しました。

ソースは、大根をすりおろしてしょうゆを加え、あっさりとした味に仕上げました。短時間でおいしいソースができました。

付け合わせは、残った大根の葉を刻んで、にんじんと一緒にいためました。

【田中さんの報告】

1

田中さんの学級では、フリップを使って調理実習の報告会を行っています。田中さんのグループは、ハンバーグを中心とした献立にしました。次は、代表の【田中さんの報告】と【配付資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) フリップの説明に用いる、図や絵、言葉などを書いた大型のカード。

【配付資料】

<材料>

■ 教科書に載っている材料

- ・ ひき肉
- ・ たまねぎ
- ・ パン粉
- ・ 牛乳
- ・ 卵
- ・ 塩・こしょう
- ・ 油

■ 教科書に載っているもの以外の材料

- ・ 大根
- ・ にんじん
- ・ しょうゆ
- ・ レモン汁

一 田中さんが話しながら示しているフリップには、どのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 聞き手に説明の手順を示す。
- 2 話の内容を簡潔に示す。
- 3 聞き手に返事を求める。
- 4 話の内容を補う。

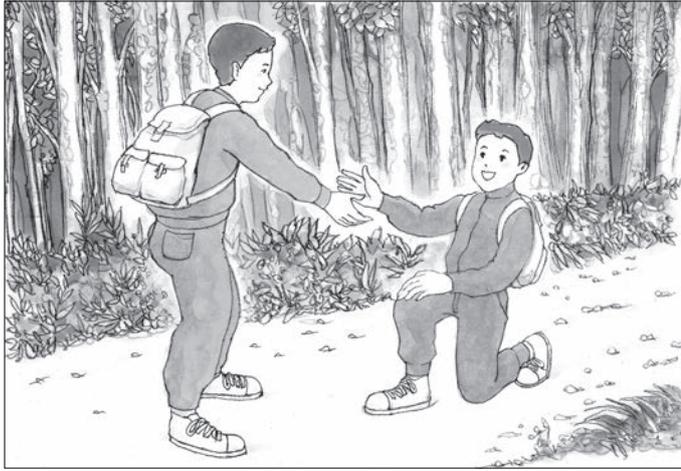
二 【田中さんの報告】と【配付資料】をもとにして、田中さんのグループが工夫したことについて質問をする場合、その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ひき肉は何グラム使いましたか。
- 2 ハンバーグを焼くときに注意したことは何ですか。
- 3 レモン汁は何に使ったのですか。
- 4 どのような分担で調理したのですか。

2

山田さんは、国語の授業で、絵をもとに物語を創作しています。次は、【提示された絵】と【物語の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【提示された絵】



【物語の下書き】

本当にくだらな理由だった。冗談で言った一言が、あんなに勇太を怒らせるなんて……。

あの日以来、勇太とは口をきいていない。今日の遠足で、仲直りをしようと思っただけれど、謝るきっかけが見つからない。僕の心は沈んでいた。学校を出発したときにはまぶしかった太陽も、今は雲に隠れてしまっていた。

今日も仲直りできないと諦めかけた帰り道、僕は石につまずいて転んでしまった。

「痛い。」

僕は、みまひで右膝を抱えた。

「大丈夫か。」

勇太だった。いつもの優しい声だった。

その声を聞いて、僕は心に決めた。

「この前のごめん。」

「もういいよ。そんなことより、足、大丈夫か。」

そう言いながら、勇太は僕に手を差し出してくれた。

「大したことはないよ。」

見上げた勇太の後ろには、

A

僕は立ち上がり、勇太と肩を並べて歩き始めた。また、仲良く過ごせると思うと、僕はうれしくなった。

一 線部では、曇り空の情景を使って、すっきりしない主人公の気持ちを表現していますが、その後、主人公の気持ちは変化しています。その気持ちの変化を効果的に表現するために、**A**の部分に、この場面にふさわしい空の描写を書き加えたいと思います。書き加える描写として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 いつの間にか雨が上がって虹がかかっていた
- 2 いつの間にか雲が晴れて青空が広がっていた
- 3 いつの間にか重苦しい雲が立ち込めていた
- 4 いつの間にか夕方の薄暗い空が広がっていた

二 僕が勇太と仲直りができたうれしさを読み手に印象深く伝えるために、**線部**「僕はうれしくなった」を次のように書き換えました。次の()に当てはまる言葉を考えて、**五字以内**で書きなさい。

僕の心は ()。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 主人公の「おれ」は、数学の教師として東京から四国に来たが、初めての授業に戸惑ったり、興味のない骨董(注1)しつとうを売り込まれたりする日々を過ごしていた。

ある日の晩大町(注2)おおまちと云う所を散歩して居たら郵便局の隣りに蕎麦(注3)そばとかいて、下に東京と注を加えた看板があった。おれは蕎麦が大好きである。東京に居(注4)おった時でも蕎麦屋の前を通って薬味の香(注5)においをかぐと、どうしても暖簾(注6)のれんがくぐりたくなかった。今日までは数学と骨董で蕎麦を忘れて居たが、こうして看板を見ると素通りが出来なくなる。① ついでだから一杯食って行こうと思つて上がり込んだ。見ると看板ほどでもない。東京と断(注7)ことわる以上はもう少し奇麗(注8)きれいにしそうなものだが、東京を知らないのか、金がないのか、滅法(注9)めつぼうきたない。昼は色が変わ(注10)かわつてお負(注11)まけに砂でざらざらして居る。壁は煤(注12)すすで真黒だ。天井はランプの油煙(注13)ゆえんで、② 燻(注14)すすぼつてるのみか、低くつて、思わず首を縮めるくらいだ。ただ麗(注15)きれい々と蕎麦の名前をかい張(注16)ひり付けたねだん付けだけは全く新しい。何でも古いうちを買つて二、三日前から開業したに違いなからう。ねだん付(注17)つけの第一号に天麩羅(注18)てんぷらとある。おい天麩羅を持ってこいと大きな声を出した。するとこの時まで隅の方に三人かたまつて、何かつるつる、ちゅうちゅう食つてた連中が、③ ひとしくおれの方を見た。部屋が暗いので、ちよつと気がつかなかったが顔を合(注19)あわせると、みんな学校の生徒である。先方で挨拶(注20)あいさつをしたから、おれも挨拶をした。その晩は久し振(注21)ぶりに蕎麦を食つたので、旨(注22)うまかったから天麩羅を四杯平(注23)たいらげた。

翌日何の気もなく教場(注24)まがらへはいると、黒板一杯ぐらゐな大きな字で、天麩羅先生とかいてある。おれの顔を見てみんなわあと笑つた。おれは馬鹿馬鹿しいから、天麩羅を食っちゃ可笑(注25)おかしいかと聞いた。すると生徒の一人が、しかし四杯(注26)よっぺは過ぎるぞな、もし、と云つた。四杯食おうが五杯食おうがおれの錢でおれが食うのに文句があるもんかと、さつさと講義を済(注27)おまして控所(注28)ひかえじよへ帰つて来た。十分立つて次の教場へ出ると一つ天麩羅四杯也。④ 但し笑う可(注29)べからず。と黒板にかいてある。さつきは別に腹も立たなかつたが今度は

癩しやくに障さぶった。冗談も度を過こせばいたずらだ。焼餅やきもちの黒焦くろくちのようなもので誰も賞ほめ手てはない。

(夏目漱石『坊っちゃん』による。)

(注1) 骨董こつどう|| 古い絵やつほなどで値打ちのあるもの。

(注5) 麗々れいれい|| 派手で人目につくさま。

(注2) 滅法めつぽう|| 度をこしていること。

(注6) 教場けうじやう|| 教室。

(注3) 油烟えん|| 油が燃えるときに出る、黒い細かな粉。

(注7) 四杯しはいは過ぎるぞな、もし|| 四杯は食べ過ぎではないですか。

(注4) 燻すすぼつてる|| 煙で黒くなる。

(注8) 控所くわうじよ|| 職員室。

一 ― 線部①「素通りが出来なくなる」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 看板の美しい文字にひかれたから。
- 2 探していた蕎麦屋を見つけたから。
- 3 店の暗く汚い様子が気になったから。
- 4 東京にいた頃から蕎麦が好物だから。

二 ― 線部②「ひとしくおれの方を見た」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 ちらつと、おれの方を見た。
- 2 親しげに、おれの方を見た。
- 3 そろって、おれの方を見た。
- 4 熱心に、おれの方を見た。

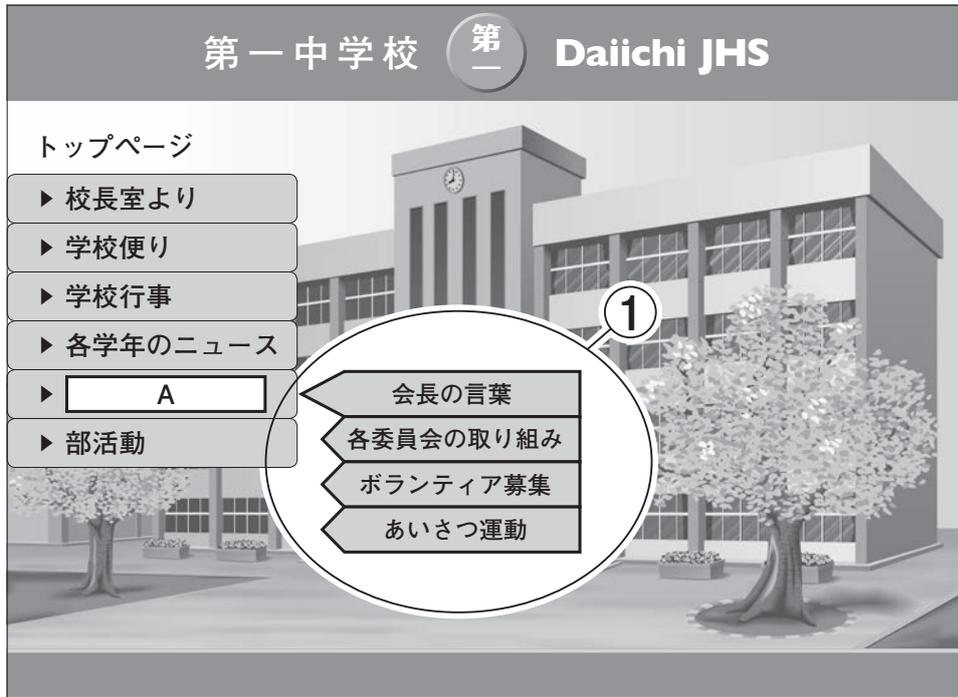
三 — 線部③「一つ天麩羅四杯也。但し笑う可らず。」とありますが、これを見たときの「おれ」の心情を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 天麩羅蕎麦を四杯食べたことを繰り返し笑われ、恥ずかしい気持ちになっている。
- 2 自分の行動を繰り返し返しからかわれ、生徒のしつこい行動に腹を立てている。
- 3 何度注意をしても黒板に落書きされ、自信をなくして気持ちが落ち込んでいる。
- 4 好きでしていることを面白がられ、生徒に理解されず寂しく思っている。

4

池田さんは、第一中学校のウェブページを作成しています。次は、その【ウェブページの一部】です。これを見て、あとの問いに答えなさい。

【ウェブページの一部】



ー 【ウェブページの一部】の **A** の部分をクリックすると、①のよ
うな項目が現れるようにしたいと考えています。 **A** の項目名とし
て最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 年間の予定
- 2 授業の様子
- 3 本校までの案内
- 4 生徒会活動

「憧れの先輩に学ぶ！」

5月13日、サッカー部では、本校の卒業生、プロサッカー選手の青木太郎さんをお迎えして「サッカー講習会」を行いました。部長が、青木さんを先導し、グラウンドに登場しました。



青木さんが、,
グラウンドに登場しました。

【行事の記録】の一部

【書き直した一文】

二 池田さんは、ウェブページに掲載するために【行事の記録】をまとめています。掲載するに当たって、——線部を「青木さんが」を主語にして一文で書き直そうと思います。の中に入るものとしてふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きなさい。なお、「先導」という言葉はそのまま用いること。

5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

へびというとほくがすぐ思い出すのは、ドイツの生理学者J・P・エーヴェルトの研究である。エーヴェルトはガマガエルを^(注1)実験材料にして、動物が外界のものを認識するしくみを研究していた。

ヨーロッパのガマガエルは日本のよりだいぶ小さく、しばしばへびに狙われて^(注2)吞まれてしまう。そこでガマはへびをたいへん恐れ^(注3)ている。

ガマはとぐろを巻いて鎌首をもたげ、じつとこちらを見ているへびに出会うと、四足を伸ばして体を高くもたげ、うんと息を吸い込んで体を思いきりふくらます。そうやって自分をできるだけ大きく見せ、へびを威嚇^(注4)するとともに、自分は大きくてお前には呑めないよということを示すのである。

けれど地上を這^(注5)っているへびを見ても、ガマは平気である。ときにはへびの上をまたいで歩くこともある。とぐろを巻いていないへびは、いきなりガマを襲うことはできないからである。

しかし、とぐろを巻いて鎌首をもたげたへびを見ると、ガマはとたんに今いった状態になる。ガマがこの姿勢をとったら、それはとりもなおさず、ガマが相手を危険なへびと認識したということだ。

とぐろを巻いて鎌首をもたげたへびを、ガマはどのように見ているのだろうか？ うろことか色・模様とかいう細部を見ているはずはない。きつとへびの姿の全体としての構成（コンフィギュレーション）にちがいない。

そう思ったエーヴェルトは、水道管などに使われている塩化ビニールのパイプで、へびの模型をつくってみた。

はじめはかなりリアルに、二回ほど折り曲げたパイプでとぐろの部分を模し、その上にまっすぐなパイプを立てて首を作り、てっぺんに少し太いパイプを短く切ったものをのせてへびの頭にした。

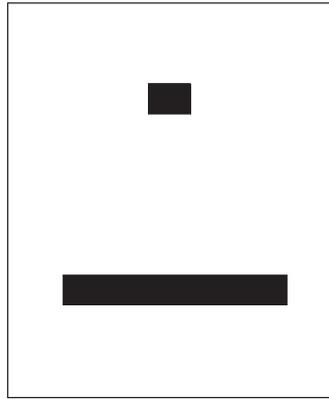
これを見たガマは、とたんに四足を踏んばり、体をふくらませて、威嚇姿勢をとった。

よし、というのでエーヴェルトは模型を次々に^(注6)簡略化していった。とぐろの部分を一つ折りのパイプに変えるとか、首をもっと細いパイプにするとかいうぐあいに。そして最後には、一本のまっすぐなパイプを水平に置き、その上に立てた一本の針金に短いパイ

プの「頭」をのせたものにした。

これはわれわれには到底へビには見えない。ところがガマは、この模型にも典型的な威嚇姿勢をとったのである。それならというのでエーヴェルトは、次のような絵を描いた。白い紙に、黒いバーをひき、その上に黒い四角を配したものである。

この絵をガマに見せると、とたんにガマは足を踏んばり、思いっきり息を吸い込んで、ものすごい威嚇姿勢をとった！ ガマにとっては、これがへビだったのである。



(ひだかとしたか日高敏隆『動物の言い分 人間の言い分』による。)

(注1) ガマガエルヒキガエルの別名。ガマともいう。

(注2) とぐろを巻いて鎌首をもたげへビが敵を攻撃するとき、体を渦巻き状に巻き、首を鎌のように曲げて持ち上げている様子。

一 ――線部①「動物が外界のものを認識するしくみ」とありますが、本文中に示されている「動物」(ア)と「外界のもの」(イ)との組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 (ア) ガマガエル (イ) ヘビ
- 2 (ア) ガマガエル (イ) エーヴェルト
- 3 (ア) ヘビ (イ) 塩化ビニールのパイプ
- 4 (ア) ヘビ (イ) ガマガエル

二 ――線部②「次々に簡略化していった」とありますが、エーヴェルトがこのように実験を行った理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 初めの模型に対してガマガエルが威嚇姿勢をとらなかったので条件を変えようと思ったから。
- 2 少しでも早く結論を出すために、実験にかかる手間を省いて研究を進めようと思ったから。
- 3 ガマガエルがヘビのどのような特徴に反応して威嚇姿勢をとるのかを知ろうと思ったから。
- 4 ガマガエルがとる威嚇姿勢には、どのような種類があるのかを確かめようと思ったから。

問題は、次のページに続きます。

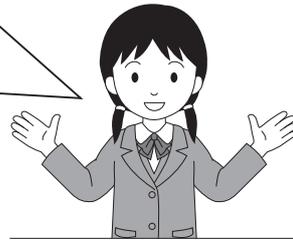
6

岩田さんの学級では、卒業文集の題名を決めています。次は、話し合いの内容を整理した【黒板】と【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【黒板】

題名の候補について		
候補	メモリー ～いつも隣に友がいた～	はばたき ～きずなを胸に～
整理	学級の団結力	
共通点		
相違点	過去の思い出	

【話し合いの一部】



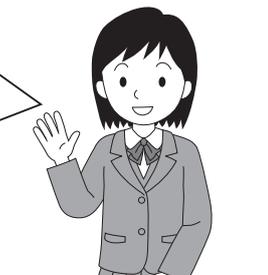
岩田さん（司会）

前回、題名の候補を「メモリー～いつも隣に友がいた～」と「はばたき～きずなを胸に～」に絞りました。今日は、題名を決定します。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってください。それでは、南さんからお願いします。



南さん

「メモリー～いつも隣に友がいた～」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出すことでしょうか。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。



高橋さん

「はばたき～きずなを胸に～」を推薦する理由は二つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のこと「きずな」という言葉に込められているからです。

一 【黒板】にある相違点の欄の に当てはまる言葉を、高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書きなさい。

二 このあと、司会の岩田さんは、どのように話し合いを進めていけばよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 題名の候補を他にも複数挙げさせ、これまでの二つの案と比べてそれぞれのよさを述べさせる。
- 2 どちらの題名がよいかすぐに手を挙げさせ、その結果を参考にして最終的に司会が決定する。
- 3 それぞれの題名に賛成する人たちでグループを作り、そこで出た意見を次回までに整理する。
- 4 推薦理由の共通点を確認し、相違点について他の人から質問や意見を求めて題名を一つに絞る。

7 西さんは、絵について鑑賞したことを文章に書いています。次は、西さんが【鑑賞している絵】、絵を見て気付いたことや調べたことを書いた【付箋】、それらを用いて書いた【文章の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【鑑賞している絵】



「東海道五十三次 掛川」 歌川広重作

【付箋】

1

〈人物〉おじぎをする旅人。橋を渡って来る僧たち。踊るように橋を渡る子供。

3

〈構図〉手前に大きく橋を配置することで、遠近感が出ている。

2

〈季節〉田植えの頃。この地方では、田植えの頃にたこ揚げをしたそうだ。
(百科事典より)

4

〈作者〉江戸時代の浮世絵師。風景画を得意とする。
(美術全集より)

橋の上では、旅人が僧に深々とおじぎをしています。よく見ると、そんなしこまった旅人とは対照的に、橋を渡る子供の踊るような姿がユーモラスに描かれています。

この絵からは、旅の中での人々の様子が生き生きと伝わってきます。そして、遠くの山を小さく描き、手前に大きく橋を配置することで、遠近感のあるダイナミックな絵となっています。

この絵には様々な工夫があり、見る人の想像をかきたててくれます。

1 西さんが【文章の下書き】を書くために使った【付箋】は、どれですか。【付箋】

の1から4までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

2 西さんは、【文章の下書き】を読んだ友達からアドバイスをもらい、第一段落と第二段落を入れ替えて書き直すことにしました。このときのアドバイスとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 絵全体の印象を先に書き、部分を見て分けることを後に書くと思ふ。
- 2 疑問に思ったことを先に書き、それについての考えを後に書くと思ふ。
- 3 調べて分かったことを先に書き、自分で考えたことを後に書くと思ふ。
- 4 この絵の一般的な評価を先に書き、それに対する反論を後に書くと思ふ。

8

次の一から六までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

1 地域の人をシヨウタイする。

2 円のハンケイを求めろ。

3 計画を行動にウツす。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 アユの稚魚を放流する。

2 このホールは音響効果が良い。

3 新記録に挑む。

三 次のアからキの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア よい結果を早く出したいときは、(1 一事が万事 2 論より証拠 3 急がば回れ 4 光陰矢のごとし) といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

イ 先のことは分らないが、(1 とりあえず 2 思いがけず 3 覚えす 4 知らず知らず) 準備だけはしておこう。

ウ 地域の伝統的な文化を (1 景勝 2 敬称 3 継承 4 警鐘) する。

エ 笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う(1 人 2 庭 3 所 4 門) には福来たる」という。

オ お客様、私が校内を (1 ご案内いただきます 2 ご案内します 3 ご案内になります 4 ご案内されます)。

カ あの人は、(1 一朝一夕 2 単刀直入 3 悪戦苦闘 4 右往左往) にもものを言う。

キ 忙しい兄は、休日のにのびのびと羽を (1 伸ばす 2 交わす 3 並べる 4 畳む)。

四 林さんは、「読んでいた本の一部」の——線部「英気を養う」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べました。あとの【国語辞典】に載っている「英気」と「養う」を説明している言葉をそれぞれ使って、「英気を養う」の意味を書きなさい。ただし、「英気」については①と②のどちらかの説明、「養う」については①から③のいずれかの説明を選び、その言葉を使いなさい。

【読んでいた本の一部】

十分に休養を取ったので、明日の英気を養うことができた。

【国語辞典】

えいき 【英気】〈名〉 ①すぐれた才気。

②活動する気力。

やしな・う 【養う】〈他動・五段〉 ①衣食など、生活の面倒をみる。

②餌を与えて動物を飼う。

③体力・知力などを少しずつ作り上げる。

問題は、次のページに続きます。

1 線部「まうけて」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

2 【昔話】の中の二つの には、同じ言葉が入ります。 に当てはまる言葉を【昔話】の中から探し、抜き出しなさい。

六 前田さんは、書写の時間に友達からもらったアドバイスを思い出しながら、小学校の先生に手紙を書いています。次は、【書写の時間に書いた作品】と友達からの【アドバイス】、前田さんが書いている【手紙の書き出し】です。前田さんが【手紙の書き出し】を書く際に生かしたアドバイスの一つとして適切なものを、【アドバイス】の1から4までのの中から二つ選びなさい。

【書写の時間に書いた作品】

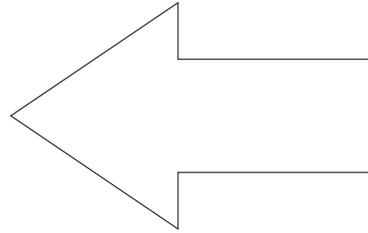
美しい
新緑

【アドバイス】

- 1 「美」の最終画は、右払いではなく、止めて書くとよい。
- 2 「新緑」の文字の中心をそろえて書こう。
- 3 「し」は、次の「い」へのつながりを意識して書こう。
- 4 漢字に対してひらがなをやや小さくするとよい。

【手紙の書き出し】

拝啓 新緑の美しい季節と
なりました。先生、お元気で
お過ごしでしょうか。



これで、国語Aの問題は終わりです。

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査
平成 26 年 4 月 文部科学省